

タテのカギ

- ① (ゼニゴケ) 家の北側などの湿った場所に張りついてはえる。
- ② (しゅう曲) 水平な地層に横方向から押し縮めるような大きな力が長い時間はたらいでできる。
- ③ (再結晶) 飽和水溶液の温度を下げる。ゆっくり行くと大きい結晶ができる。溶解度の差からとり出せる結晶の質量を考えることができる。食塩水は水を蒸発させていく。
- ④ (石灰岩) 堆積岩。生物の石灰質の殻や海水中の石灰分からできている。炭酸カルシウムを多く含む。うすい塩酸をかけると二酸化炭素の泡を発生し溶ける。
- ⑤ (流紋岩) 無色鉱物が多く含まれる。ねばりけが強い(二酸化ケイ素が多い) マグマが冷えてできた。
- ⑥ (たて状火山) 楯(盾) をふせたよう。ねばりけの小さいマグマの活動からできる。おだやかな噴火。マウナケア、マウナロア、キラウエア。ハワイ島の黒い溶岩台地。
- ⑦ (石英) 無色か白色。
- ⑧ (金属) みがくと、金属光沢。電気や熱をよく通す。延性、展性。
- ⑩ (主要動) 初期微動のあとからくる。S波が届くと主要動が始まる。
- ⑭ (火山岩) 急激に冷え固まった。斑状組織(石基と斑晶)。流紋岩・安山岩・玄武岩。
- ⑮ (混合物) 2種類以上の物質が混じり合ったもの。融点や沸点が一定にならない。溶液は、溶質と溶媒が一様に混ざった混合物である。
- ⑮ (振幅) 大きくなるほど音は大きくなる。

ヨコのカギ

- ② (硫酸銅) 水によく溶け、水溶液は青色。
- ④ (せん緑岩) 等粒状組織。ねばりけが中くらいのマグマが冷えてできた。
- ⑥ (堆積岩) 砕せつ岩、凝灰岩、石灰岩とチャート。
- ⑨ (入射角) 鏡の面に垂直な線と入射光との間にできる角。反射の法則。
- ⑪ (砕せつ岩) れき岩、砂岩、泥岩。
- ⑫ (融点) 純粋な物質では、物質ごとに決まった温度である。融解しているときの温度は一定。混合物はとけ始めてからとけ終わるまで温度が上がり続ける。
- ⑬ (気管) 腹部の気門から空気を取り入れ、気管で酸素と二酸化炭素の交換(呼吸)を行う。
- ⑮ (コケ植物) 維管束はない。からだの表面全体から水を吸収する。乾燥に弱く、湿った場所で生育する。仮根でからだを地面に固定する。孢子でなかまをふやす。雌株の先の孢子のうで孢子をつくる。
- ⑮ (花こう岩) 無色鉱物(石英、長石)が多く含まれる。少量の有色鉱物(黒雲母など)を含む。等粒状組織。ねばりけが強いマグマが冷えてできた。
- ⑰ (地震) 大地がゆれ動く現象。震源で発生した振動が伝わり、地表ではこの振動を地震として感じる。
- ⑲ (焦点) 凸レンズに光軸と平行な光を当てたとき、光が集まる光軸上の点。凸レンズの両側の焦点距離は等しい。太陽からの光は平行な光なので焦点に集まる。その1点を紙に当てると、紙は強く加熱され焦げる。
- ⑳ (肺呼吸) 水中生活をする哺乳類も水面で空気を吸って肺呼吸を行う。
- ㉑ (カモノハシ) 水かきとくちばしをもった哺乳類。全身が毛でおおわれている。
- ㉒ (全反射) 水中から水面に向かって光が進むとき、屈折角が 90° になる角度より大きい入射角では、光は屈折して空気中に出ることができなくなる。光は境界面ですべて反射して、水中にもどる。